

1. 科目名 (単位数)	社会教育計画 (2 単位)	3. 科目番号	SSMP3444
2. 授業担当教員	川野 佐一郎		
4. 授業形態	講義と討議、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	<p>急速な社会の変化に伴い、人々の生活や価値観も多様化し、生涯学習の振興や社会教育支援の在り方も大きく様変わりしている。地域における住民の学習や活動の拠点である社会教育施設も、指定管理者制度の導入など民間の活力を導入した施設へと移行している。社会教育を推進する中心的な役割を負っている社会教育主事は、生涯学習、社会教育に関する基礎知識を身につけるとともに、時代の変化に柔軟に対応できる問題解決能力や先見性、創造性、コミュニケーション能力等が求められるようになってきている。</p> <p>そこで、本科目では社会教育計画（個別事業計画）の策定を通して、社会教育主事としての資質を育成するとともに、社会教育事業の推進計画である社会教育計画及び社会教育行政の役割について理解を深める。</p>		
8. 学習目標	<p>次の目標を達成できることを目的とする。</p> <p>①社会教育の現状把握を通して、社会が抱える今日の課題について理解することができるようになる。</p> <p>②社会教育計画を策定する意義を理解し、策定の必要性を述べることができるようになる。</p> <p>③社会教育計画の種類、内容の学習を通して、策定に当たっての手順・方法を理解することができるようになる。</p> <p>④社会教育における施設や職員の専門性、及び対象となる学習者の特性を理解することができるようになる。</p> <p>⑤今日的課題の特徴を理解し、課題解決のための社会教育計画（個別事業計画）を策定することができるようになる。</p>		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<p>①社会教育計画を研究するため、グループワーク、事例発表を行う。</p> <p>②社会教育計画を読み、計画の具体的事例について調査・分析・立案し、発表する。</p>		
10. 教科書・参考書・ 教材	<p>【教科書】 鈴木真理ほか編著『社会教育計画の基礎－新版－』学文社、2012。</p> <p>【参考書】 生涯学習・社会教育行政研究会編『生涯学習・社会教育行政必携 22年度版』第一法規。</p> <p>【教材】 プリント資料（必要に応じ作成し、授業時に配布）</p>		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>1. 社会教育に関する政策及び計画プロセスについて深く理解し、説明できる力を身につけたか。(知識・理解)</p> <p>2. 社会教育に関する現代的課題について関心を持ち、地域の実情をふまえた社会教育計画の立案・策定ができる力を身につけたか。(思考力・判断力・表現力)</p> <p>○評定の方法</p> <p>【授業への取り組み姿勢、授業内での課題提出、期末レポート等を総合して評価する。】</p> <p>1. 授業への取り組み姿勢 総合点の30%</p> <p>2. 授業内での課題提出（課題レポート・企画書作成等） 総合点の40%</p> <p>3. 期末課題（計画の立案・策定及び発表） 総合点の30%</p>		
12. 受講生への メッセージ	<p>① 授業中は緊張感と集中力を保って受講すること。</p> <p>② グループワークの役割分担には積極的な態度で参加すること。</p> <p>③ 正当な理由なしに欠席はしないこと。</p> <p>④ レスポンスシートには質問や意見、感想を積極的に記述すること。</p>		
13. オフィスアワー	授業前後の休憩時間		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス シラバスの説明（授業の進め方） 教育（学校教育、家庭教育、社会教育）について	事前学習	シラバスの内容を十分理解する。
		事後学習	教育の意義について「持続可能な社会づくり」という観点から調べる。
第2回	行政運営の基本と計画策定の意味 (総合計画、実施計画と予算編成方針)	事前学習	行政計画の種類、内容、ネットワーク型行政について情報収集する。
		事後学習	総合計画を具体化する予算編成の仕組みや関係性についてまとめる。
第3回	教育振興基本計画と社会教育計画の意義 (計画目標、課題設定、策定プロセス、内容、手順、市民参加、説明責任、評価等)	事前学習	社会教育計画策定のための手順や方法について分析する。pp.7～20
		事後学習	社会教育計画の意味、立案の具体的方法について整理、まとめる。
第4回	社会教育計画の基礎的な条件（1） (社会教育における“地域”の概念)	事前学習	“地域”“コミュニティ”の概念について調べる。pp.21～31
		事後学習	共同体としての地域、活動の主体となる地域が持つ意味について整理し、まとめる。
第5回	社会教育計画の基礎的な条件（2） (社会教育における学習者の位置づけ)	事前学習	学習者の特性と学習ニーズを調べる。 pp.95～109
		事後学習	学習者を理解したうえでニーズに基づいた学習方法をまとめる。

第6回	社会教育計画の基礎的な条件（3） （社会教育における学習支援者－社会教育主事など 専門職の役割）	事前学習	学習支援の持つ意味について調べる。 pp. 110～120
		事後学習	学習支援の重要性と専門職の役割、資質、能力 について整理し、まとめる。
第7回	社会教育計画の基礎的な条件（4） （社会教育施設の設置目的と機能）	事前学習	社会教育施設の設置目的や現状について分析 する。pp. 32～47
		事後学習	公民館、博物館、図書館の目的と機能、在り方 を理解し、重要なポイントをまとめる。
第8回	事例研究（1-1）：自治体の社会教育計画の実際 （グループワークによる計画づくり①）	事前学習	自治体における具体的な社会教育計画につい て調査研究する。pp. 7～20
		事後学習	地域や施設、学習者のニーズなど想定した社会 教育計画の重要点をまとめる。
第9回	事例研究（1-2）：自治体の社会教育計画の実際 （グループワークによる計画づくり②）	事前学習	ワークショップなどの方法論を調査し、分析す る。
		事後学習	社会教育計画の全体像を把握し、重要点をまと める。
第10回	事例発表（1-3）：自治体の社会教育計画の実際 （各グループによる成果発表及び討議）	事前学習	グループによるプレゼンテーションのやり方 を調査し、分析する
		事後学習	計画から実施のプロセスを見通し、評価、改善 へ至るようまとめる。
第11回	事例研究（2-1）：個別事業計画としての社会教育計画 （グループワークによる計画づくり①）	事前学習	個別事業や学習プログラムづくりを通して計 画のポイントをふりかえる。pp. 79～94
		事後学習	市民、学習者とともにつくる社会教育計画のあ り方を整理し、まとめる。
第12回	事例研究（2-2）：個別事業計画としての社会教育計画 （グループワークによる計画づくり②）	事前学習	学習者のニーズ把握に努め、どのように助言、 支援していくか調査し、分析する。
		事後学習	計画から実施へのプロセスの中で広報や周知 の仕方を整理、まとめる。
第13回	事例発表（2-3）：個別事業計画としての社会教育計画 （各グループによる成果発表及び討議）	事前学習	参加者の学習ニーズに応える内容となってい るか分析する。
		事後学習	学習した成果をどのように生かしていくか整 理し、まとめる。
第14回	社会教育計画と調査	事前学習	量的調査と質的調査について分析する。 pp. 201～210
		事後学習	計画の基礎となる調査の方法について整理し、 まとめる。
第15回	社会教育計画と評価	事前学習	P-D-C-Aについて調査し、分析する。 pp. 157～170
		事後学習	評価方法における重要な視点を整理、まとめ る。